

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21014
事業名	消防車両整備費					
評価担当課	所属名	消)総務部 施設管理課				
	課長名	高谷 幸宏	担当者名	佐々木・寺倉	電話番号	215-2030
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	車両更新計画に基づき車両の更新・整備を実施することによって、更新年限を超過していない車両の割合を高い状態で維持することができ、災害対応力の低下を防ぐ。			
		長期	消防車両の長期使用による機能低下や車両修理期間の増大は、災害対応力の低下を招くことから、消防体制を維持するため、計画的に消防車両を更新・整備する。			
	取組内容	【内容】長期使用に伴う機能低下がみられる車両、修理部品の調達が困難となっている車両10台の更新。※()内数字は導入年度 ①救急車4台 厚別西(H26)、豊平(H26)、北野(H26)、藤野(H26) ②水槽車3台 幌北(H18)、曙(H18)、北野(H19) ③救助車 白石(H16) ④はしご車 平岸(H16) ⑤指揮車1台 豊平(H17) 合計10台更新 ⑥はしご車重点整備1台 新琴似(H21)				
実施結果	車両更新計画に基づく計画的な消防車両の更新及び整備ができたことにより、火災や救急事案等の災害活動に対する消防体制が維持された。					
事業実施における工夫点	他都市の取組等を参考に、費用対効果の高いものを調査及び分析を行った上で仕様の見直しを実施している。					
対象者	市民	開始	平成31年度	終了	令和5年度	
関連法令・条例・要綱等	消防組織法、消防法、消防力の整備指針					
他都市の状況	他の政令市においても、消防力の整備指針の規定や整備状況等に基づき、計画的に更新を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	509,843	603,000	600,987	676,000
うち特定財源	456,690	570,690	548,117	631,117
人工	3.0	3.0	3.0	3.0
人件費	21,600	21,600	21,600	21,600
計(事業費+人件費)	531,443	624,600	622,587	697,600
事業費の内訳	令和3年度決算	指揮車14, 483, 675×1台、水槽車59, 106, 503×3台、救急車25, 180, 900×2台、救助車143, 588, 690×1台、はしご車182, 235, 579×1台、はしご車重点整備30, 525, 000×1台※電源立地地域対策交付金:20, 360, 000、空気ボンベ購入2, 472, 000※石油貯蔵施設立地対策等交付金:1, 757, 000		
	令和4年度予算	水槽車58, 000, 000円×5台、救急車31, 000, 000×4台、はしご車190, 000, 000×1台、はしご車重点整備306, 000, 000×1台、390, 000, 000×1台※電源立地地域対策交付金:20, 360, 000、空気ボンベ購入2, 473, 000※石油貯蔵施設立地対策等交付金:1, 757, 000、端数処理▲73, 000		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	消防車両の更新台数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	12	10	10	10	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	更新年限を超過していない車両の割合			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	100%	100%	100%	100%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	計画的に消防車両を更新し、消防活動体制を確保することができ、火災出動や救急出動等への各種災害対応能力が維持された。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	消防車両の長期使用は、車両本体や消防ポンプ等の装備部分の機能低下や故障修理に必要な部品の調達が困難になるなど、必要とされる消防活動体制の確保ができず、消防活動の支障となり市民サービスの低下につながる。 また、長期使用により故障頻度が増加し、さらに修理費用も高額となるため、計画的な更新は必要不可欠であり、新規更新からの使用期間も他都市と比較して標準で適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	修理と更新に係る経費の比較や、費用対効果の観点から定めた車両更新基準に基づくものであり、適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	消防活動体制を維持し、市民サービスのニーズにしている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	消防活動体制を維持する上では、長期使用する消防車両の耐久性向上を図ることが重要であるため、随時、仕様の見直しを図り、装備部分の機能低下の抑制や故障頻度の軽減に向けて取り組む。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	無し		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市民の安全、安心につながる消防活動体制の維持を図ることで十分な効果がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 計画的に車両の更新及び整備を行い、消防活動体制の維持を図るとともに、車両の耐久性や災害対応能力の向上を図るため、仕様の見直し等を行う。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 各車種に応じた更新基準に基づき、継続して事業を実施する。		見直し効果額	0